

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133	A-169	16-083 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
<p>The association between alcohol use and problematic internet use: A large-scale nationwide cross-sectional study of adolescents in Japan.</p> <p>アルコール摂取と問題のあるインターネット利用との関連：日本の青年集団における大規模横断研究</p>		
執筆者		
Morioka H, Itani O, Osaki Y, Higuchi S, Jike M, Kaneita Y, Kanda H, Nakagome S, Ohida T.		
掲載誌		
J Epidemiol. 2017 Mar;27(3):107-111. doi: 10.1016/j.je.2016.10.004. Epub 2017 Jan 17.		
キーワード		PMID
インターネット中毒、飲酒、青年、横断研究、日本		28142042
要 旨		
目的：		
日本の青年におけるアルコール摂取頻度および摂取量と問題のあるインターネット利用（インターネット中毒（IA）および過剰なインターネット利用（EIU））との関連性を検討した。		
方法：		
ランダム抽出された 100,050 名（男 51,587 名、女 48,463 名）の日本の中高生を対象に自記式質問調査を行った。8 項目から成る Young Diagnostic Questionnaire for Internet Addiction のうち 5 つ以上該当した場合を IA、1 日 5 時間以上インターネットを利用する者を EIU と診断した。アルコール摂取量は過去 30 日間の摂取日数および 1 回あたりの摂取量を尋ねた。多変量ロジスティック回帰分析により、IA および EIU のアルコール摂取日数および摂取量に関するオッズ比（OR）および 95%信頼区間（95%CI）を算出した。		
結果：		
アルコール摂取日数の検討では、0 日と比べ、1-5 日、6-19 日および 20 日以上の群で IA の OR（95%CI）はそれぞれ、1.49（1.39-1.60）、1.62（1.38-1.90）、3.36（2.57-4.41）、EIU の OR（95%CI）は 1.85（1.75-1.95）、2.42（2.13-2.74）、3.55（2.79-4.51）と正の関連を示した。1 回あたりのアルコール摂取量では、飲まない群に比べ、1 杯未満、1-2 杯、3-5 杯および 6 杯以上の群の OR（95%CI）は、IA が 1.33（1.25-1.42）、1.46（1.36-1.57）、1.44（1.30-1.60）、1.74（1.51-2.01）、EIU が 1.19（1.12-1.25）、1.91（1.81-2.02）、2.62（2.42-2.83）、3.25（2.92-3.63）と量依存的に増加した。		
結論：		
日本の青年において、アルコール摂取頻度および量ともに問題のあるインターネット利用（IA および EIU）と有意な正の関連を示した。		